



# しなやか先端技術企業集団

環境にやさしいテクノロジーで未来を創造

 **ワイエイシーホールディングス 株式会社**

東証1部 証券コード:6298

## 事業フィールド



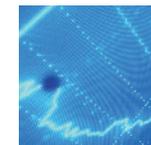
ハードディスク



精密熱処理



ディスプレイ



工業用計器・制御通信



半導体



精密切断



太陽電池



レーザープロセス



クリーニング



医療

## 第48期 中間 ビジネスレポート

2019年4月1日～2019年9月30日



代表取締役社長  
百瀬 武文

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに『第48期中間ビジネスレポート』をお届けいたします。  
当第2四半期の連結業績は、米中貿易摩擦の影響を受け、当社のお客様である製造業各社の設備投資時期に遅れが生じたこと、また、一部案件におきましてコストが一時的に増大したこと等により、前年同期比で大幅な減収・減益となってしまいました。この結果、期初に発表しておりました通期業績予想及び通期配当金につきましては、誠に残念ながら下方修正をさせていただきました。下期につきましては、この新しい業績予想値を上回ることができるよう、改

めて気を引き締めて、邁進してまいります。

今後も既存事業における規模の拡大並びにM&A、アライアンスに積極的に取り組むとともに、「第4次産業革命」に関連した新商品の開発や、生産性の向上を目的とした「働き方改革」にも積極的に取り組み、更なる経営基盤の拡充を進め、高収益体質化を推進し、より多く社会に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

さあ今日も、  
ときめきと感動の日々であれ！

### 創業理念

1. 技術集約会社
2. 旺盛なバイタリティー
3. リスクに果敢にチャレンジする
4. 少数精鋭主義

### 成長理念

1. 社員の豊かさを追求する（経済的、精神的）
2. 国・地方自治体により多く納税する
3. 新製品の創造・提供
4. 地域社会への貢献
5. 株主を優遇する
6. 環境保全のため省資源・省エネルギーを図る

### 究極の理念

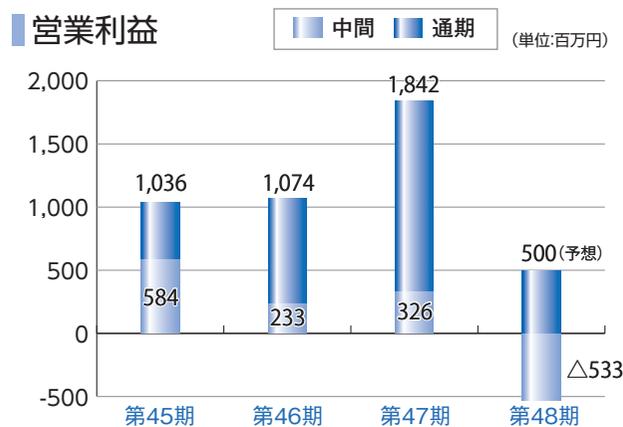
- ～より多く社会に貢献するために～
1. 社員の成長
  2. グループの成長
  3. 全員経営・連携と競争
  4. 納税額の拡大

|                 | 第45期      | 第46期      | 第47期      | 第48期中間    | 第48期通期(予想) |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 売上高             | 29,452百万円 | 28,871百万円 | 36,025百万円 | 11,952百万円 | 30,000百万円  |
| 営業利益            | 1,036百万円  | 1,074百万円  | 1,842百万円  | △553百万円   | 500百万円     |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 790百万円    | 403百万円    | 1,094百万円  | △710百万円   | 200百万円     |
| 1株当たり純資産額       | 1,545.37円 | 1,578.33円 | 1,659.97円 | 1,562.45円 | —          |
| 自己資本比率          | 42.5%     | 37.0%     | 35.9%     | 39.9%     | —          |
| 配当金             | 20円       | 20円       | 20円       | 10円       | 10円        |

売上高



営業利益



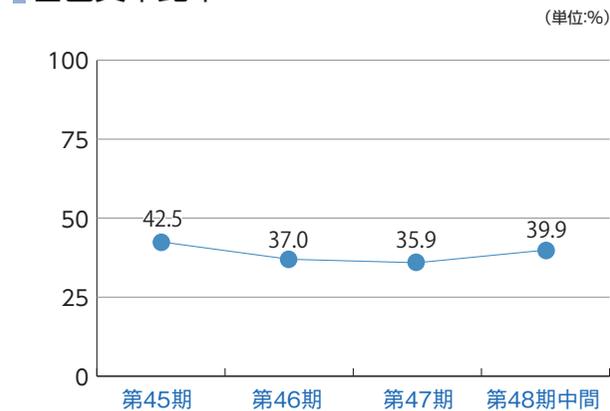
親会社株主に帰属する四半期純利益



1株当たり純資産額



自己資本比率



配当金



## 事業概況

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における世界経済は、米国、欧州、中国ともに減速となりました。米国の通商政策による不透明感、欧州においては輸出環境の悪化と環境規制強化の影響で中核国のドイツ経済が大きく下振れしたことで、未だ未決着のBrexit問題、中国における米中貿易摩擦問題等が主な理由と思われる。各国とも利下げ等にて対応してはいるものの、その実効性は乏しいものとなっております。

日本経済においては、個人消費や設備投資は堅調であるものの、鉱工業生産指数や住宅投資、輸出は弱含みとなり、全体的には横ばい圏で推移しました。

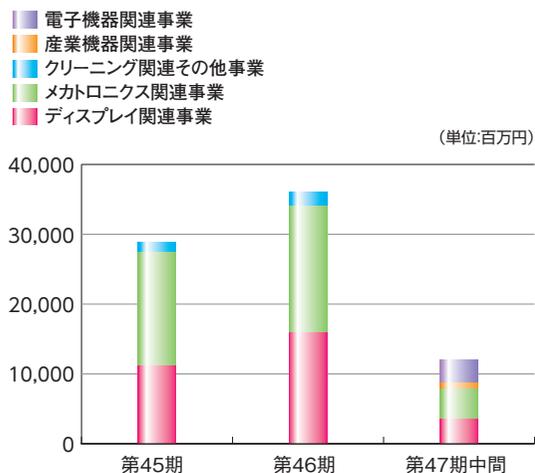
当社の属する業界については、FPD業界は中国を中心として展開されており、時期的な強弱はあるものの、需要は引

き続き旺盛な状態を維持しております。半導体業界は中期的には5G関連やAI、IoT等の需要により大きな成長が期待されますが、短期的には米中貿易摩擦の影響により下振れリスクが高まっており、回復は年度後半あたりからと見込まれております。

このような経済状況のもとで当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と販売に努めてまいりました。しかしながら、半導体市況の回復の遅れや設備投資の後ろ倒し等により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高119億52百万円(前年同四半期比25.2%減)、営業損失5億53百万円(前年同四半期は営業利益3億26百万円)、経常損失6億22百万円(前年同四半期は経常利益4億28百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失7億10百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億61百万円)となりました。

## セグメント別の状況

### セグメント別売上高



当第1四半期連結会計期間よりグループ会社の業態に基づいて区分変更し、従来の事業を「メカトロニクス関連事業」、「ディスプレイ関連事業」、「産業機器関連事業」及び「電子機器関連事業」へ再編いたしました。

## 経営の現状と通期見通し

今後の見通しにつきましては、第4次産業革命の流れのなか、半導体業界を中心に、5G関連やAI、IoT等の需要の拡大が見込まれておりますが、短期的には米中貿易摩擦に端を発する世界経済下振れへの警戒感の広がりから、設備投資の先送りが相次いでおります。

通期の連結業績につきましては、期初に見込んでいた大口案件の受注の遅れ並びに、ディスプレイ事業における一時的なコスト増大の影響から、売上高300億円、営業利益5億円、経常利益4億円、親会社株主に帰属する当期純利益2億円を予想しております。

### ディスプレイ関連事業

大口案件の投資時期の遅れにより、業績は低調に推移しました。利益面では、価格競争が激化していることに加え、一部案件において不具合対応のためコストが増大しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は35億21百万円(同54.8%減)となり、セグメント損失は5億66百万円(前年同四半期はセグメント損失32百万円)となりました。

### メカトロニクス関連事業

ハードディスク関連装置及び太陽電池関連装置が好調に推移しましたが、電子部品市場の冷え込みの影響によりキャリアテープの販売が低調となり、業績は横ばいで推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は42億72百万円(前年同四半期比5.1%増)となり、セグメント利益は78百万円(同17.4%増)となりました。

### 産業機器関連事業

国内向けクリーニング市場は減少傾向が続いておりますが、着実に成長を続ける中国市場向けの需要を取り込み、業績は底堅く推移しました。

これらの結果、産業機器関連事業の売上高は9億47百万円(同35.6%増)となり、セグメント損失は13百万円(前年同四半期はセグメント損失80百万円)となりました。

### 電子機器関連事業

電力会社向け計測装置の大口需要が一巡しましたが、人工透析装置の販売が好調に推移したことにより、業績は横ばいで推移しました。新型人工透析装置への開発投資により、利益は減少しました。

これらの結果、電子機器関連事業の売上高は32億11百万円(同6.2%減)となり、セグメント損失は98百万円(前年同四半期はセグメント利益1億88百万円)となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目             | 当第2四半期末<br>2019年9月30日現在 | 前連結会計年度末<br>2019年3月31日現在 |
|----------------|-------------------------|--------------------------|
| <b>【資産の部】</b>  |                         |                          |
| <b>1</b> 流動資産  | 26,740                  | 32,863                   |
| 固定資産           | 8,714                   | 8,781                    |
| 有形固定資産         | 6,751                   | 6,904                    |
| 無形固定資産         | 503                     | 568                      |
| 投資その他の資産       | 1,460                   | 1,309                    |
| 資産合計           | 35,455                  | 41,645                   |
| <b>【負債の部】</b>  |                         |                          |
| <b>2</b> 流動負債  | 13,060                  | 17,547                   |
| 固定負債           | 7,976                   | 8,835                    |
| 負債合計           | 21,036                  | 26,383                   |
| <b>【純資産の部】</b> |                         |                          |
| 株主資本           | 14,472                  | 15,230                   |
| その他の包括利益累計額    | △322                    | △269                     |
| 新株予約権          | 51                      | 51                       |
| 非支配株主持分        | 216                     | 249                      |
| <b>3</b> 純資産合計 | 14,418                  | 15,261                   |
| 負債純資産合計        | 35,455                  | 41,645                   |

連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目  | 当第2四半期累計期間<br>自2019年4月1日<br>至2019年9月30日 | 前第2四半期累計期間<br>自2018年4月1日<br>至2018年9月30日 |
|---|---|---|
| 売上高                                       | 11,952                                  | 15,977                                  |
| 売上原価                                      | 10,128                                  | 13,298                                  |
| 販売費及び一般管理費                                | 2,378                                   | 2,352                                   |
| 営業利益又は営業損失(△)                             | △553                                    | 326                                     |
| 営業外収益                                     | 68                                      | 151                                     |
| 営業外費用                                     | 137                                     | 49                                      |
| 経常利益又は経常損失(△)                             | △622                                    | 428                                     |
| 特別利益                                      | 29                                      | 78                                      |
| 特別損失                                      | 44                                      | 0                                       |
| 税金等調整前四半期純利益又は<br>税金等調整前四半期純損失(△)         | △636                                    | 507                                     |
| 法人税等                                      | 87                                      | 312                                     |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△)                         | △724                                    | 195                                     |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は<br>非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △14                                     | 33                                      |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は<br>親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △710                                    | 161                                     |

**4** 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科目                   | 当第2四半期累計期間<br>自2019年4月1日<br>至2019年9月30日 | 前第2四半期累計期間<br>自2018年4月1日<br>至2018年9月30日 |
|----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | △1,934                                  | 109                                     |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △12                                     | 137                                     |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | △681                                    | 98                                      |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | △28                                     | 49                                      |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)  | △2,656                                  | 394                                     |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 7,898                                   | 7,926                                   |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | —                                       | —                                       |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高     | 5,242                                   | 8,321                                   |

**POINT 1** 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は267億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ61億22百万円減少しました。主な減少要因は現金及び預金26億90百万円、受取手形及び売掛金24億88百万円、仕掛品7億3百万円、有価証券2億58百万円であります。

**POINT 2** 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は130億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億87百万円減少しました。主な増加要因は短期借入金2億69百万円であり、主な減少要因は支払手形及び買掛金28億30百万円、前受金12億23百万円、未払法人税等4億74百万円であります。

**POINT 3** 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は144億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億43百万円減少しました。その結果、自己資本比率は39.9%となり、1株当たり純資産は1,562円45銭となりました。

**POINT 4** 連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期累計期間における営業活動による資金は、19億34百万円の減少(前年同期は1億9百万円の増加)となりました。

これは主に

■プラス要因

- (1) 売上債権の減少24億1百万円
- (2) たな卸資産の減少4億96百万円
- (3) 減価償却費2億81百万円
- (4) 未収消費税等の減少2億3百万円

■マイナス要因

- (1) 仕入債務の減少27億75百万円
- (2) 前受金の減少12億13百万円
- (3) 法人税等の支払額6億75百万円
- (4) 税金等調整前四半期純損失6億36百万円

また、投資活動による資金で12百万円減少、財務活動による資金で6億81百万円減少した結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ26億56百万円減少し、52億42百万円となりました。

## ホームページをリニューアルしました

ワイエイシグループでは、①株主・投資家の皆様やお取引先様等、各種ステークホルダーに向けた情報開示の充実、②学生（新卒採用）・転職希望者向け採用情報の充実による採用強化を目的に、今般ホームページをリニューアルいたしました。

新しいホームページでは、当社グループをより深くご理解いただけるよう、「ワイエイシグループとは」、「事業領域」という新コンテンツを作成し、グループ全体で目指すべき方向性や、ビジネスユニット別の事業説明を掲載しております。

また、ニュースやトピックスを、わかりやすく利用者の皆様にお伝えできるよう工夫を凝らしました。

採用情報も従来から一新し、働く社員の生きた声を伝えることで、学生等の就職希望者に関心を持っていただける内容です。

デバイスを選ばないWeb構成で、セキュリティ機能も強化しておりますので、ぜひご覧いただければと存じます。



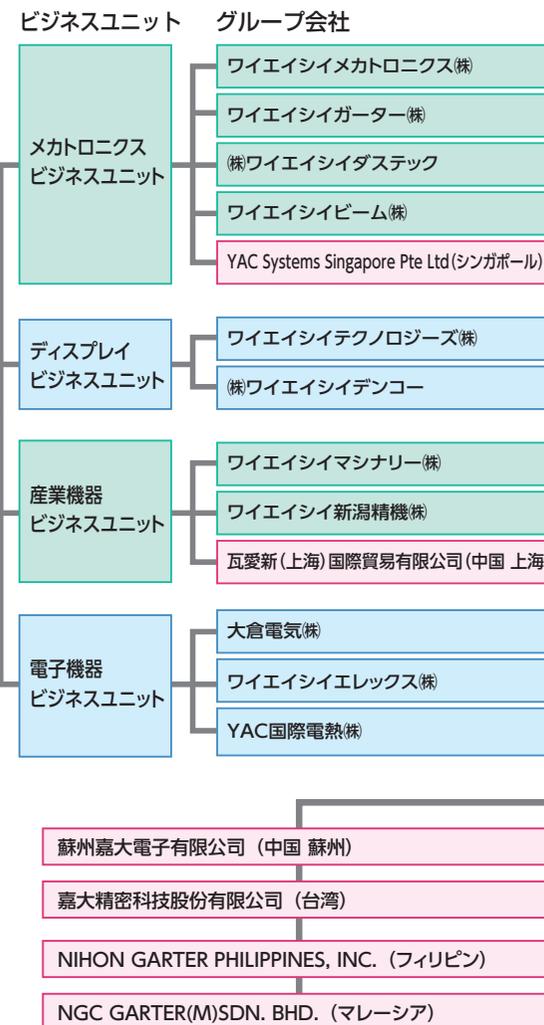
新URL <https://www.yac.co.jp>

## ワイエイシグループの構成

ワイエイシホールディングス傘下 全17社

国内グループ会社 11社  
海外グループ会社 2社  
海外孫会社 4社

ワイエイシホールディングス(株)



会社概要

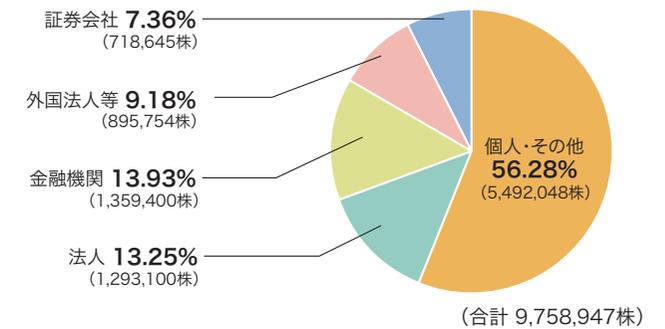
商号 ワイエシイホールディングス株式会社  
 英文表示 Y.A.C. HOLDINGS CO., LTD.  
 本社 東京都昭島市武蔵野三丁目11番10号  
 設立 1973年5月11日  
 資本金 2,801百万円  
 従業員数 20名 (連結849名)  
 (出向社員・契約社員等の臨時雇用者含まず)

株式の状況

会社が発行する株式の総数 34,388,000株  
 発行済株式の総数 9,758,947株  
 当期末現在の株主数 5,080名  
 個人・その他※ 4,912名 5,492,048株  
 法人 36名 1,293,100株  
 金融機関 23名 1,359,400株  
 証券会社 44名 718,645株  
 外国法人等 65名 895,754株

※自己株式を含みます。

所有株式数分布状況



役員・執行役員

(2019年10月1日現在)

代表取締役社長 百瀬 武文  
 取締役常務執行役員 寺本 和政  
 取締役 畠山 督  
 取締役 伊藤 利彦  
 取締役 福田 辰徳  
 取締役 副島 幸雄  
 取締役 大倉 章裕  
 取締役 石田 祥二 ※社外取締役  
 取締役 木船 常康 ※社外取締役  
 常勤監査役 辻 慎司  
 監査役 高田 直規 ※社外監査役  
 監査役 飯田 哲郎 ※社外監査役  
 執行役員 西坂 昌伯

大株主

| 株主名   | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 株式会社モモタケ  | 1,220   | 12.50   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)   | 319     | 3.27    |
| 百瀬 武文   | 311     | 3.18    |
| BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/<br>JASDEC/ACCT BP2S DUBLIN CLIENTS-AIFM | 266     | 2.73    |
| DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO  | 200     | 2.05    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)   | 166     | 1.70    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)  | 165     | 1.69    |
| カブドットコム証券株式会社   | 153     | 1.56    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)  | 117     | 1.19    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)  | 94      | 0.96    |

※当社は、自己株式を702,714株保有しておりますが、大株主からは除外しております。

株価・株式売買高の推移(週足)



## 株主メモ

|              |               |               |  |
|--------------|---------------|---------------|--|
| 事業年度         | 4月1日～翌年3月31日  | 同 連 絡 先       | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>TEL 0120-232-711 (通話料無料)  |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日         |               | 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日         |               |  |
| 定時株主総会       | 毎年6月          |               |  |
| 株主名簿管理人      | 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 上 場 証 券 取 引 所 | 東京証券取引所  |
| 特別口座の口座管理機関  | 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 公 告 の 方 法     | 電子公告により行います<br>公告掲載URL <a href="https://www.yac.co.jp">https://www.yac.co.jp</a><br>(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### ホームページのご紹介

株主・個人投資家の方々に対しての  
当社の状況をわかりやすく伝えたコンテンツを  
提供しております。

<https://www.yac.co.jp>

または、

で検索ください。

## ワイエイシイホールディングス 株式会社

〒196-0021 東京都昭島市武蔵野3-11-10  
TEL:(042)546-1161(代表) FAX:(042)546-1107  
URL <https://www.yac.co.jp>